

学校経営のポイント

“日本学校教育学会研究大会”のご案内

若井 彌一

1年という時の流れは、緩急さまざまに感じられる。来たる平成21年8月1日(土)～2日(日)、国立大学法人兵庫教育大学を会場として、日本学校教育学会第24回研究大会が開催される(大会準備委員長＝佐藤真・兵庫教育大学大学院教授/大会事務局長＝勝見健史・同大学大学院教授)。今回は、この研究大会についての案内をさせていただきます。

毎年8月に研究大会を開催

日本学校教育学会(JASE)は、毎年8月の第1土・日(原則)に研究大会を開催してきている。今年は、第24回研究大会である。学会の研究大会というのは、多くの場合、会員が所属している大学等の研究教育機関の持ち回りで開催されているのが通例である。JASEの場合、前々回(一昨年)は広島大学(大会準備委員長＝中野和光・同大学大学院教授〔当時〕/大会事務局長＝古賀一博・同大学大学院教授)、そして前回(昨年)は仙台白百合女子大学(大会準備委員長＝牛渡淳・同大学教授/大会事務局長＝朝倉克彦・同大学教授)であった。

関係大学当局のご支援なしには実現できないものであり、この場を借りて関係各位に対してあらためて感謝の意を表するものである。

今回の大会では、大会校である兵庫教育大学をはじめとして、兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会・加東市教育委員会・芦屋市教育委員会・三田市教育委員会・豊岡市教育委員会という数多くの教育委員会にご後援をいただいている。会長の立場にある者として、この場を借りて深甚の謝意を表したい。

JASEは、昭和60年9月15日、学校教育の理論と実践の統合をめざす学術研究団体として設立された。約400名規模の比較的小規模な学会ではあるが、学

校教育に関する理解と実践力を深め豊かにするための学会として堅実な活動を継続してきている。

学校教育の実践的課題の報告・協議

今回の研究大会における自由研究発表では、25の個人研究発表が予定されている。また、「公開シンポジウム」では、「新学習指導要領の実践化にどう取り組むか『解説』作成協力者と語る」というテーマで、3名の学習指導要領解説・編成作成協力者に登場していただき、今次の改訂学習指導要領の改訂趣旨を生かした教育実践の取組みについて検討することとしている(3名＝小西豊文・大阪成蹊短期大学教授、多田孝志・目白大学教授、佐藤真・兵庫教育大学大学院教授)。

もう1つの企画である「課題研究」では、「新しい学校づくりの課題と方法 学び合う学校(教師)集団を創る」というテーマで、教職員の同僚性と学校の自律性を核にした学校改革の課題と方法を探究する。3名の登壇者の指導の視点は、次のとおり。

学校内部から 野田晃(上越市立大手町小学校主幹)、行政・管理職から 滝誠(犬山市教育委員会指導課長)、研究者から 諏訪英広(川崎医療福祉大学准教授)。

今回も、発表・登壇者の充実した研究成果と重みのある提案、出席者からの質問等により、盛り上がりのある研究大会となることであろう。会員だけでなく、臨時の会員の参加も大歓迎である。

“巡り来て JASE の日間近 天高し”

JASE についての問い合わせ＝兵庫教育大学・勝見健史研究室(TEL・FAX＝0795-44-2141)まで。

(わかい・やいち＝上越教育大学長)

本紙は、<http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp>でも掲載

●最新刊好評発売中！ 教育開発研究所【編】 B6判 270頁・定価2,100円 教育開発研究所
『教育の最新事情がよくわかる本』 知っておきたい教員としての最新知識！

■好評発売中！ 教職大学院の課題と展望、理論と実践、全国教職大学院ガイド等を網羅！
『全国教職大学院年鑑 '08-'09』 A5判 170頁・定価2,100円